

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮崎県 宮崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	63.42	3.27	98.37	2,430

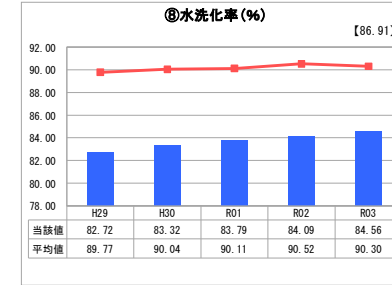
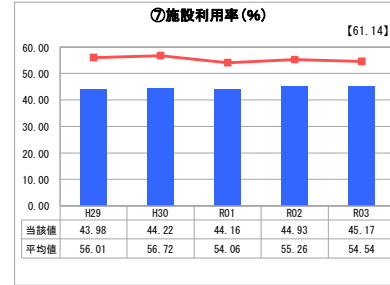
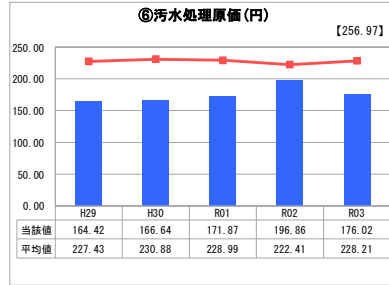
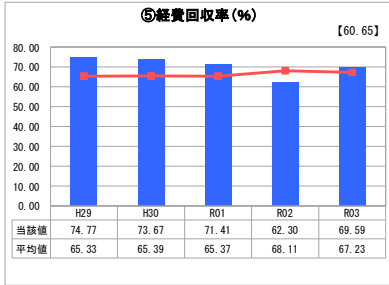
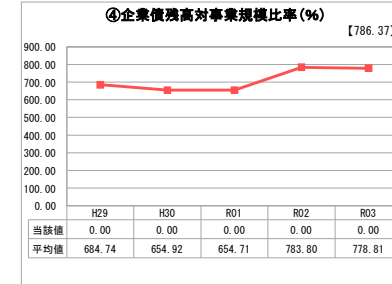
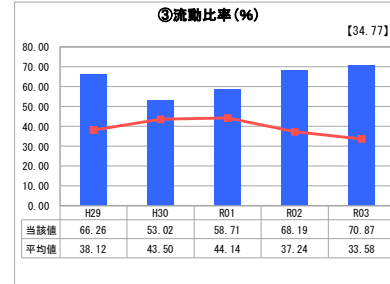
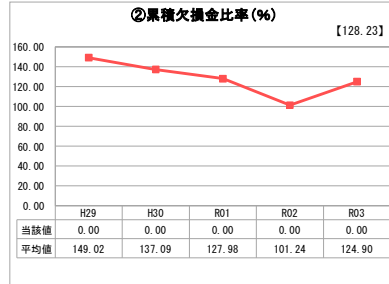
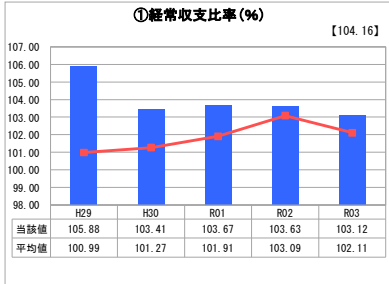
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
400,918	643.57	622.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,079	7.55	1,732.32

グラフ凡例

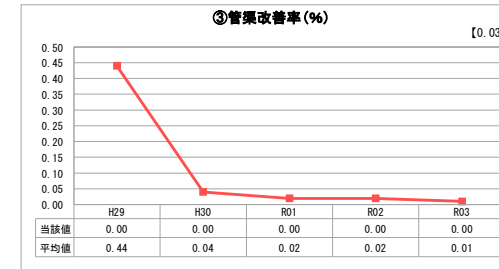
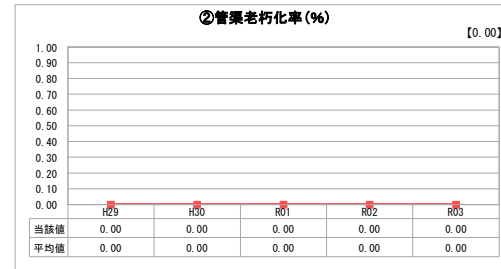
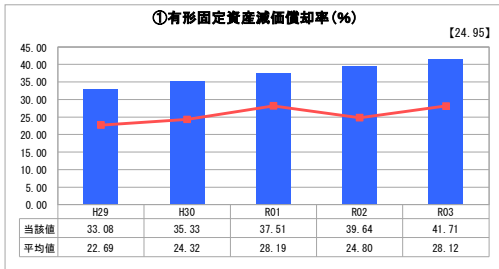
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

● 経営の健全性について
 【経常収支比率】は、一般会計からの繰入により100%以上を維持しています。
 【流動比率】は100%を下回っていますが、類似団体平均や全国平均より高い水準であり、累積欠損金もありません。
 【企業債残高対事業規模比率】は企業債現在高に対する一般会計からの繰出基準割合が100%であるため「0」となっています。
 【経費回収率】は、前年より上昇したものの100%を下回る水準が続いており、独立採算制の観点から、使用料の見直しが必要な状況です。

● 効率性について
 【汚水処理原価】は汚水処理費用が減少したため低下し、全国平均や類似団体平均を大きく下回っています。
 【施設利用率】と【水洗化率】は、類似団体平均や全国平均より低くなっており、公共下水道への接続を含め、農業集落排水事業最適整備構想・再編計画に基づきながら、より効率的な施設運営を検討するとともに、未接続帯への広報・啓発に取り組んでいく必要があります。

2. 老朽化の状況について

【有形固定資産減価償却率】は、類似団体平均や全国平均よりも高くなっており、今後も年々上昇していくと見込まれます。
 【管渠老朽化率】は平成4年に供用を開始しており、法定耐用年数を経過した管路がないことから「0」になっています。【管渠改善率】も「0」になっていますが、老朽化や耐震化に対する更新は計画的・効率的に行ってまいります。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、施設規模も小さく、集落が点在するなど効率性が低い状況にあります。また、【有形固定資産減価償却率】も上昇していることから、「経営戦略」及び「みやざき水ビジョン2020」に基づき、施設の機能診断を行いながら、費用対効果を検証のうえ、公共下水道へ接続するなど、施設の統廃合等を検討することとしています。また、公営企業の原則である独立採算の観点から、使用料の改定について検討していく必要があります。なお、農業集落排水事業の使用料体系は公共下水道事業と同一となっています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。